

メガソーラー発電事業に参画

ー 長崎田手原メガソーラー発電所を着工 ー

戸田建設(株)(社長:今井雅則)は、(株)ダイヤモンドソーラージャパン(三菱商事(株)の100%出資会社)、三菱UFJリース(株)と共同出資して設立した長崎田手原ソーラー合同会社(2013年5月設立)を事業主体として、長崎県長崎市田手原においてモジュール容量13.2MWのメガソーラー発電所に取り組みます。

長崎田手原メガソーラー発電所の建設地にはゴルフ場跡地を活用しています。ゴルフ場跡地約112haのうち開発済みの土地を含む約28haに、太陽光パネル(三菱電機(株)製)50,554枚を配置する大規模な発電所計画です。初年度想定の間年発電量は約1,300万kWhであり、一般家庭の約3,500世帯分の電力使用量に相当します。

建設工期は、2014年2月15日から2015年4月14日までとし、発電事業の開始は2015年4月15日を予定しています。

事業スキームとしては、長崎田手原ソーラー合同会社が総事業費の約2割を負担し、金融機関からのプロジェクトファイナンスにより約8割の資金を調達する計画です。「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」を活用し、発電した電力は九州電力(株)に全量売電します。

また今回のプロジェクトでは、当社はEPC※事業者としてメガソーラー発電所の設計と建設も担当します。地形の高低差とパネル同士の影の影響を考慮した設計としているほか、地形の起伏や地盤の状態による施工性への配慮と解体時も含めたコスト低減のため、架台の基礎は長さ1mの杭基礎方式と布基礎方式を併用するなどしています。

当社は、発電事業者として参画する今回のプロジェクトを通じて、企画段階から設計・調達・施工、運用段階までのノウハウを獲得していきます。今後はメガソーラー発電事業においてはEPC事業者のみならず、発電事業者としても参画していく考えです。また、再生可能エネルギー事業は当社の新たな事業の柱として今後も積極的に展開していく方針です。

※EPC:設計(Engineering)、調達(Procurement)、建設(Construction)を請け負う業務

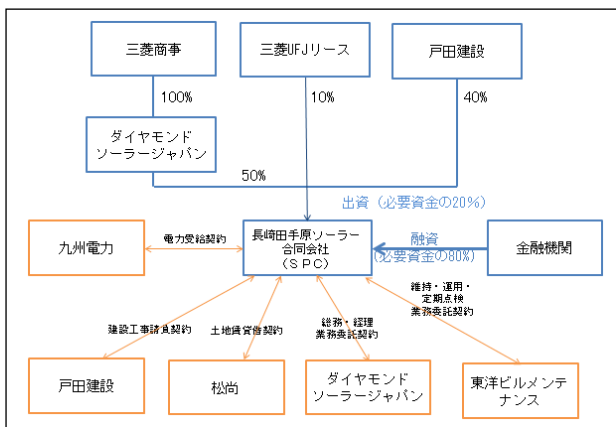


図1 長崎田手原メガソーラー発電所の事業スキーム



図2 長崎田手原メガソーラー発電所 完成予想パース